

令和4年度 弘前市総合計画審議会 議事概要 (第4回)			
日 時	令和4年11月11日 (金) 13時30分～15時30分		
場 所	弘前市役所 市民防災館3階 防災会議室及びオンライン	傍聴者	0人
出席者	委員 (12人)	【会場出席 (8人)】 森会長、鴻野委員、藤田委員、田澤委員、小山(悟)委員、清藤委員、斎藤委員、福土委員 【オンライン出席 (4人)】 今村委員、高島委員、崎野委員、外崎委員	
	事務局 (6人)	企画部長、企画課長、企画課長補佐、企画課主幹、企画課主査 (2人)	
	その他		
会 議 概 要			
1 開 会			
2 議 事			
弘前市総合計画後期基本計画素案について			
○主な質疑等の内容は以下のとおり。			
【素案の概要】			
事務局からの説明に対し、委員からの質問・意見等なし。			
【基本方針】			
事務局からの説明に対し、委員からの質問・意見等なし。			
【リーディングプロジェクト】			
<ひとの健康>			
・弘前ヘルスアップル推進事業は、りんご農家に限らず野菜農家など広く農業者を対象にした方がよいのではないか。			
⇒本事業は新規の取組で、現状ではりんご産業に限定し、農家や流通に関わる方、消費者等を広く巻き込んだ健康増進や新たな消費、販路開拓を進める事業案となっていますが、いただいたご意見は担当課へ伝える。			
・プロジェクト指標「メタボリックシンドロームの該当者・予備軍の割合」について、目標値が33.5パーセント同じ2020年度と同じ数値になっているが、もっと高い目標を掲げるのは難しいのか。			
⇒メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合は増加傾向にあり、2019年度			

と 2020 年度を比較した場合、国 1.8%増、県 1.7%増、当市においては 2.6%増となっていることから、様々な施策に取り組むことで増加率を抑制し、現状の割合を維持する目標値としたもの。目標値が低いというご指摘については、再度検討する。

- ・プロジェクト指標「肥満傾向児の出現率」について、コロナ禍前の 2019 年度実績を目指す目標値となっているが、前期基本計画ではさらに低い目標値を掲げている中で、今回どのように目標値を設定したのか。

⇒大人のメタボリックシンドロームの指標と同様、子どもの肥満についても全国的に増加しており、本県、当市も同様の傾向にあるが、コロナ禍が収束し子どもたちの運動の機会が増えてくる見込みもあることから、コロナ禍前の 2019 年度の水準まで改善する目標値としたもの。

- ・小・中学生の取組が多いように読み取れるが、保育園や幼稚園でも食育等の取組を推進してきているので、そのことが伝わるよう記載内容の修正を検討してほしい。

⇒掲載した事業の中では、未就学児や親子が対象の事業もあるので、そのことが分かるよう記載内容を修正する。

<まちの健康>

- ・「プロジェクトの目的」の記載内容について、読んでいて内容をつかみにくいと思ったので、整理しまとめていただきたい。

⇒幅広い取組を記載したい一方、スペースが限られているため、現状の記載となっている。いただいたご意見を踏まえ、文章を修正する。

- ・「健康医療関連産業の誘致」とあるが、どのような産業の誘致なのか。

⇒例えば、医療機器、福祉関連用品、健康食品など、医療、福祉、健康に関わる幅広いものをイメージしている。また、弘前大学 COI に参画している企業の営業所、製造拠点なども想定している。

- ・企業を誘致した後、企業に根付いてもらうことが大事なので、しっかり取り組んでいただきたい。

<みらいの健康>

- ・「①学び」の指標「町会や公民館、学校や PTA、NPO・ボランティア団体、企業などが行う地域の活動やイベントに参加している市民の割合」は基準値 25.1%から目標値 35.0%に上げるとしているが、本プロジェクトの指標「市民・町会・

学生・企業等・行政がお互いに連携し協力し合いながらまちづくりに取り組んでいると思う市民の割合」は基準値 37.2%から目標値 40.0%と約 3%の増にとどまっている。目標値を見直すべきではないか。

⇒指標「町会や公民館、学校や PTA、NPO・ボランティア団体、企業などが行う地域の活動やイベントに参加している市民の割合」が、プロジェクト指標として適切と判断し、指標を同指標に変更する。

【「⑦農林業」の施策体系】

・農地等の有効活用と耕作放棄地の防止と再生を集約したことは大変よい。

・⑦農林業の施策体系の見直しについて、りんごに関しては積極的に取り組んでいることがわかるが、りんごに特化した感がある。

りんご以外の、例えば飼料用米・加工用米の生産拡大なども含めて欲しい。

⇒新設した「施策 4) 新たな販路・消費の拡大」では、りんごとりんご以外の農産物の販路・消費の拡大に取り組むこととしており、米関連の計画事業は米粉活用促進支援事業しか掲載されていない。りんごの販売キャンペーンと併せて米の販促活動を展開しているものの、現状、当該活動は計画事業に位置付けられていないので、いただいたご意見は担当課にお伝えする。

・新設した「施策 4) 新たな販路・消費の拡大」に、「輸出」という言葉が出てこない。りんごの輸出拡大に関する事業を加えていただきたい。

⇒計画事業ではないが、輸出関連の事業はあるので、担当課と調整する。

【「①学び」から「⑤福祉」の拡充内容】

<①学び>

・「小・中学校トイレ改修事業」は、建物全体の改修を待たずにトイレの部分だけどんどん新しくするということか。

⇒今回は、トイレの和式便器を洋式便器に替える工事を行うもので、トイレ自体の改修は校舎の全面改修の際に行われる。

<③子育て>

・指標「幼児教育や保育サービスが整っていると感じる子育て世帯の市民の割合」及び「子育てに係る負担が軽減されていると感じる子育て世帯の市民の割合」について、目標値が総合計画初年度より低くなっているため、努力してもっと上げていく必要があるのではないか。

⇒「幼児教育や保育サービスが整っていると感じる子育て世帯の市民の割合」は、

過去3年の数値の平均値を維持する目標値、「子育てに係る負担が軽減されていると感じる子育て世帯の市民の割合」は、基準値から毎年0.8ポイントずつ引き上げていく目標値としたもの。いずれもご指摘のとおり、総合計画初年度の実績値よりも低い目標値となっている。目標値が低いというご指摘については、再度検討する。

<④健康・医療>

・「禁煙支援」という文言があるが、市ではどのような取組をしているのか。「禁煙を推進」とした方が良いのではないか。

⇒健康増進課保健師による禁煙支援の取組を行っている。記載の文言については、より分かりやすい表現にできないか検討する。

・「階段でいつでもチルトレ事業」の具体的な事業内容は。階段を上れば、消費カロリーがわかるような表示をしてはどうか。

⇒階段の段差部分に健康を意識する広告やメッセージを掲載し、健康への意識啓発や階段を上りたくなる工夫を施すなどの事業案となっているが、まだ検討段階なので、いただいたご意見を担当課に伝え、引き続き具体的な事業内容を検討していく。

3 閉 会